公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	1.(1)
対象事業	道路·街路事業
主要目標	歩行者等の安全性の確保

	対象地区·箇所名	個別事業の妥当性評価					事業間優先度の評価													
優先順位付け の考え方								貢献度ランクの評価					副次効果ラ	ンクの評価						
		対象地区·箇所名	公共関 与、 業執行 主体の 全当性	経済効 率性	事業 実規 の 当	整備 手の効性	環角の虚	事業 計画 別度	貢献度ランク	歩行者・ 自転車交 通量	自動車交通量 台/12h	通学路の指 障害者等交 は小中学校 園児、児 童、障通通 者の交通 人/日	通弱者の多	₹通量又	・現況の歩 道幅員 m	副次効果ランク	評点	事業間ランク		総合意見
	国道140号(誠心幼稚園入口~井							а	29	6,505	-	_	0.6	0.00	1	4	S	-	自転車の通行について検討すること	実施
	<u>尸)</u> (主)甲府南アルブス線(西八幡工区)					J			372		-	あり	-	0.00	1	4	S		H44-0/2/102010/00/00/00/00/00/00/00/00/00/00/00/00/	実施
	(土)中的用アルノス線(四八幡工区)		·····					а	312	4,015	-	עיכט	-	0.00	'	4	3	-		夫 爬
				ļ		ļ				ļ										
			٠			۵				Å						\$				
5行者・自転車及 び自動車の交通				-		<u> </u>														
量が多く、通学路 等求められる安 全水準の高い区				-		<u> </u>					<u> </u>									
全水準の高い区 間を優先する。											ļ									
			·····			ļ				,						,				
				-																
						J				J										
				 	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>													
				-	ļ	<u> </u>														
]	
								基準値	71	3,314	40	あり	1.0	1.40	基準値	4.0				

副次効果評価調書

	目標番	5	- 1. 歩行者等σ	.(1) D安全の確保	主要目標に対 応する副次効	所で想定され	評価の説明	評価結果
_	対象地区・箇所名 国道140号(誠心幼稚園入口~井戸)				果項目	る副次効果		
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 (2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上	注注		混雑時走行速度 17.4km/h < 30km/h以下 自動車交通量 6,505台/12h(H22セッサス) > 3,314台/12h以上(平日)	2
		- 1 . 交通 向上	の利便性の	(3) 市街地内の交通の円滑化				-
					注			-
	· 県			(4) 向上	7.2			
	民生			(1) 森林機能の維持·向上				
	生活の豊			(2) 憩い空間の創出				
	か			(3) 生活排水処理機能の向上				
	さ と 経	- 2.生活	環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保				ļ
	済の			(5) 適正な居住空間の確保				
	発展を支える基			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
_	える			(7) 道路景観の向上				
主要目標項	盤			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能の 向上				
標頂	充実			(2) 農業生産力の向上				
Ĩ		- 3.農林 興	水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上				
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
				(1) 歩行者等の安全性の確保				
		- 1 交诵	の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保				
	暮ら	向上	00	(3) 都市災害防止				
	らしと経済			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	経済			(1) 洪水被害の防止				
	活動の			(2) 土石流被害の防止				
	の 安全 性	- 2.洪水 の防止	·土砂被害	(3) 崖崩れ被害の防止				1
	性確保			(4) 地滑り被害の防止				1
		- 3 . 鳥獣	被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
			交通ターミ:	ナル機能の強化				
	交通利	便性	アクセス機	能の維持				
				ペイントの解消				
			水質の浄化 大気汚染の					1
			騒音·振動					
			良好な景観					
	十千理	lië	バリアフリー				車椅子で通行可能な幅員の確保	1
	生活環	1-76	ライフライン 身近な緑地	/の強化 				1
			飲雑用水の					
			糞尿の処理					
				ど·学習等活動の支援 				
副次			合種情報(). 水源涵養機					1
次効果項	自然環	境	生態系空間					
項目		-		焼遮断帯の確保				<u> </u>
	事劫.'	※事院 ル		接触・救助機能の確保 ・実施及の防止			緊急輸送道路の整備、避難路の確保	1
	事故・災害防止 被災時の被 既存施設の			8音派及の初止)崩壊危険性の排除				+
			走行安全性					
		-	林業生産力					<u> </u>
	生産性	:	遊休農地の	D解消 				1
	工座社		新にな公共 農地の保全					+
	L		農林産物の					L
				ギーの活用				
	Z ~ "		リサイクルの					ļ
	その他		文化・歴史	的資源等の保存·復元 				-
				ェクトとしての位置づけ				1
_							副次効果 評点合計	

注1)「主要目標に対応する副次効果項目。の欄に"が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所で想定される副次効果」の欄に""を記入、「評価の説明。欄に具体的な評価内容を記入する。 注2) 副次効果の内、他の主要目標に踏当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランク3に該当するものは2点、ランク5以下の場合は1点とする。 注3) 「-1、(1) 歩行者等の安全性の確保、("-1、(2) 災害に強い道路の確保、(*-1、(4) 交差点の安全性、円滑性の向上。を主要目標とする事業(地区・箇所)の副次効果の評価にあたり、(*-1、交通の利便性の向上。に基づく副次効果項目については、いずれか1項目のみを抽出し評価を行う。

副次効果評価調書

主要目標番号 1.(1)						対象地区·箇		
主要經濟		区, 笛昕夕		ン安全の確保 ラフルブス線(西八幡丁区)	主要目標に対 応する副次効 果項目	所で想定され る副次効果	評価の説明	評価結果
山口川	面対象地区・箇所名 (主)甲府南アルブス線(西八幡工区) (1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアク1 (1) ス向上				注		混雑時走行速度 19.1km/h < 30km/h以下	2
		- 1 交通	の利便性の	(1) ス向上 (2) 市町村中心地·大規模拠点施設へのア クセス向上	注		自動車交通量 4,015台/12h(実測) > 3,314台/12h以上(平日)	2
		向上	00/17/20/17/00	(3) 市街地内の交通の円滑化				
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上	注			
	県民生			(1) 森林機能の維持・向上				
	生活の			(2) 憩い空間の創出				
	豊かっ	- 2.生活環境の向上		(3) 生活排水処理機能の向上				
	さ と 経			(4) 良好な市街地空間の確保				
	済の発			(5) 適正な居住空間の確保				
	展を			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
主	支える基			(7) 道路景観の向上				
要目標	基盤充			(1) 中山間地域等の農村生活·生産機能 の向上				
主要目標項目	充実			(2) 農業生産力の向上				
П		- 3.農林 興	水産業の振	(3) 農業用排水能力の向上				
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
				(1) 歩行者等の安全性の確保				
	暮		の安全性の	(2) 災害に強い道路の確保				
	6 ل	向上		(3) 都市災害防止				
	経済活			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	動の	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(1) 洪水被害の防止				
	安全性			(2) 土石流被害の防止 (3) 崖崩れ被害の防止				
	確保			(4) 地滑り被害の防止				
	lar.	- 3.鳥獣	被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
	÷.×.	交通ターミナル機能の強化 交通利便性 アクセス機能の維持						
	又地作	加州	アクセス機主要渋滞す	代イントの解消				
			水質の浄化					
			大気汚染の					
			騒音・振動 良好な景観					
			バリアフリ-				車椅子で通行可能な幅員の確保	1
	生活環	環境	ライフライン					
			身近な緑地 飲雑用水の	b·交流の場の提供 D安定供給				
			糞尿の処理					
				と・学習等活動の支援				
副次				D円滑な提供 機能の向上				
从効果項	水源涵養機能の向上 生態系空間の再生							
項目				焼遮断帯の確保			NA NA TA . TA (7)	
	事故・	災害防止		避難·救助機能の確保 要害波及の防止			避難路の確保	1
)崩壊危険性の排除				
			走行安全性	生の確保				
			林業生産力					
	生産性	ŧ	遊休農地の新たな公共	用地の創出				
			農地の保全					
			農林産物の					
			自然エネルリサイクルの	/ギーの活用 の推進				
	その他	3		的資源等の保存・復元				
			他事業との					
	<u> </u>		重要プロジ	ェクトとしての位置づけ			┃副次効果	<u> </u>
							第六八八 語合計	1 4